

# 海外派遣留学プログラム 月間報告書

*University of Cincinnati - Ohio, United States*

留学期間移動時のトラブルにより問題が多かった一ヶ月でした。到着とともに授業は始まり、これまでの生活が遠い昔かのようにめまぐるしい勢いで1週間、1ヶ月が過ぎていきます。アメリカ観光を堪能するのはまだまだ先になりそうです。環境の変化に適応しきれず体調を崩しました、こちらの土地柄に身体を適応させるにはまだ時間がかかるかもしれません。

*No image due to broken phone...*

# STUDY

授業における進捗

*Product design studio, Product design communication, Making of Things*

*No image due to broken phone...*

授業選びに苦戦してようやく取り始めることが出来た矢先、体調を崩し授業に遅れをとってしまうという何とも悪い意味で自分らしいところが出てしまったアメリカでの立ち上がり。

授業内容は非常に早いスピードで進んでいくため、ついて行くためには「寝る・食べる・課題」の3つで生活を構成する他ないほどの厳しい環境です。中でも Product design studio は DAAP の中でも有名な Tony Kawanari という先生の前、椅子のデザインを進めており 2 週間で 300 サムネイルスケッチという課題が出されました。今思えばかわいいほうかなと思うほどですが。アイデア出しやスケッチは苦ではないのですが、千葉大学で怠けてきた構造的な実現性や製造過程を考慮したスケール感・マテリアル決定に苦しんでいます。消費者ニーズと製造者との架け橋であるデザイナーならば出来なければならない基礎が出来ていないと痛感する毎日です。

# LIFE

## 学外生活を通じての学習

VOLTAGE, CO-OP

*No image due to broken phone...*

ライフスタイルにおいては、JASS と呼ばれる日本人団体へ参加する中で仲良くなった Zhao という日本語が流暢に話せる友人とシェアハウスをはじめました。住み始める上でバタバタしてしまいましたが、やはり住む家があるというのは非常に安心感があって幸せです。

不運なことは次から次へと降りかかってくるもので、風邪をひいたと思えば1ヶ月たった今でも治りません。スマートフォンは壊れ、撮った写真が報告書に載せられません。

CO-OP という、インターンシップに出るために受ける授業にも参加しているのですが、ポートフォリオの審査が通り2社からインターンのインタビューを受けることが出来ました。しかしながら電話の故障により結果の電話を受けられない状況でハラハラしながら毎日が過ぎていきます。

ポートフォリオの基本的な修正や、アメリカにおけるインターンの成り立ちやその仕組み。そして面接の仕方を表面的ですが知ることができ、非常に多くの経験を短い期間ですることが出来ました。

椅子の授業の中では、授業時間外にも椅子の会社で質問する機会や昨年の先輩がデザインした椅子とそのプレゼ

ンを聞くことが出来非常に大きな刺激を受けました。ストレスが非常に多い生活ですが、そのような刺激はいつも自分を奮い立たせてくれるので大切にして行きたいと思っています。

正直なところ、生活に注意するほどの心の余裕がないのが本音ですが何かあるとすれば、アメリカは単位が全く異なるのでとても困ります。一方で大学の設備やサポートが充実しているため、色々なことが大学内で済ませることができこちらの大学はとても便利かと思います。お金が非常にかかるのは問題で、プロトタイプを作るにも何もかもお金がかかる点は千葉大学の方がいいなと思ったりもします。

とにかく、アメリカでの忙しさも海外で日本人に囲まれて暮らすのもストレスが非常に強いのですがそれも留学なのかなと感じます。

自分のすることに集中し、スピード感を持ってタスクをこなしていくこと。英語を向上させ、インターンを取ることをまずは目の前の目標として励んで行きたいと思えます。

